

平成28年度 愛媛大学大学院連合農学研究科
入学式 式辞

本日、愛媛大学大学院連合農学研究科博士課程に入学された24名の皆さん、誠におめでとうございます。本研究科を構成する愛媛、高知、香川の3大学を代表し、入学された皆様をはじめ、ご関係の皆様方に、心よりお祝い申し上げます。

さて、本研究科は、3大学の農学系学部の連携により、人間、社会、自然への深い洞察に基づく総合的判断力と高度な専門分野の学識と技能を教授し、21世紀を担う優れた人材を育成することを目的として、1985年4月に設置されました。以来、30年の歴史の中で、世界に認められる数多くの研究成果を挙げ、学術の進展に寄与するとともに、地域や国際社会で先導的に活躍する高度な専門人材を輩出して参りました。この間の博士の学位取得者は、論文博士を含めて1,000名にも上っております。

本日入学された皆さんは、それぞれの専門分野で、しかるべき研究成果を挙げ、博士の学位を取得されることを目指し、決意をあらたにされていることと思います。農学分野における昨今の科学技術の進展はめざましく、新たな知見が加速度的に得られつつあります。皆様には、本研究科において、日々研鑽を積み、最新の専門知識・技術を修得するとともに、定説を覆すような革新的な研究に果敢にチャレンジしてい

だきたいと思います。

一方、現代社会における専門人材には、このような高度な専門性と合わせて、広い社会的視野と洞察力が不可欠です。現代の科学研究は、個人的利益や為政者の利得のためにあるのではなく、社会からの付託を得て実行され、その成果は広く社会に還元されるべきものであります。博士課程においては、国内はもとより、国際社会の現状や動向を踏まえ、各々の研究課題や研究活動の社会的な位置づけについて、絶えず自問する姿勢を身に付けていただきたいと考えます。

連合農学研究科を構成する3大学は、それぞれが立地する地域や世界各地の大学・研究機関との教育研究における交流や連携を活発に行っています。皆さんには、本研究科が有するこの知的ネットワークを最大限活用して、多様な社会との繋がりを広げ、専門人材としての見識を深めて下さい。

農学は、いつの時代にあっても、人類生存の根幹を支える重要な学問分野であり、これからの新たな時代の創造には、専門人材としての道を目指す皆さんに大きな期待が寄せられています。今後の皆さんの一層の発展とご健勝を祈念し、式辞といたします。本日は、誠におめでとうございました。

平成28年4月11日

香川大学長 長尾 省吾